

報告書3回提出に 市のチェック体制は

山岡 幹雄議員

担当課が責任をもってチェックする
健康子ども部長



▲間違った決算書の再提出書類

問 市がNPO法人に依頼している団体名は。

答 「NPO法人れんこん村のわくわくネットワーク」「NPO法人愛西児童老人ふれあい館」「NPO法人まちづくり津島」の3団体だ。

問 業務委託のNPO法人役員の異動届を提出させているか。

答 異動届はない。

問 市の事業を行っている団体は、実施内容を正確に報告する責任があるのでは。

答 担当課が責任を持ってチェックする。

問 決算報告書を3回も提出させている。内部でチェックを行えないNPO法人に対する管理体制は。

答 報告書の誤りに関しては、事業者に正しい内容の報告書を再提出してもらっている。

職場のパワーハラスメント

問 職員が上司や議員にパワーハラを受けた報告は何件、退職した職員は何名か。

答 職員のパワーハラの件数は、平成31年4月1日以降で4件の報告。パワーハラを理由とする退職者は把握していない。

問 長期休暇の職員は、9名。

問 パワーハラスメントの關係のアンケートの実施は。

答 パワーハラの相談については本人からの申し出もあり、周囲の職員から報告があるケースもある。相談に関しては秘密を厳守しているが、実際には相談しづらい場合もある。実態把握の手法について検討を進める。